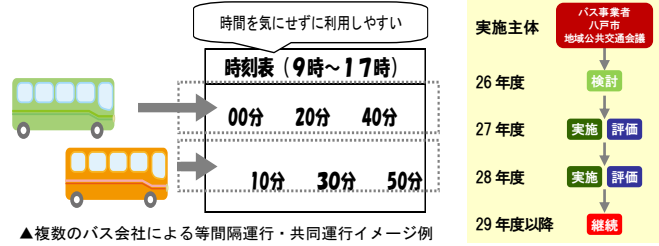


目標達成のための事業のイメージとスケジュール

事業1 幹線・交通拠点の便利さ向上戦略

事業 1-1 市内幹線軸品質確保プロジェクト

〇市内幹線軸で実施してきた等間隔運行・共同運行の高頻度サービスを継続して提供していくため、事業性を確保するとともに途中のバス停でも周知を徹底し、一層の利用促進を図ります。



実施主体	バス事業者 八戸市 地域公共交通会議
26年度	検討
27年度	実施 評価
28年度	実施 評価
29年度以降	継続

事業 1-2 複数交通モード連携サービス提供プロジェクト

〇観光目的の来訪者の移動利便性を向上させるため、鉄道・路線バス・タクシー等、複数の交通モードの連携により、利用者目線に合わせた公共交通サービスを提供します。



実施主体	鉄道事業者 バス事業者 地域公共交通会議
26年度	検討
27年度	実施 評価
28年度	実施 評価
29年度以降	継続

事業 1-3 小規模需要対応乗合交通運行プロジェクト

〇八戸駅・中心街間で運行しているシンタクンを支援するとともに、バスを走らせるほどのニーズが高くない地域や時間帯において、交通需要に対応した乗合交通サービスの導入を検討します。



実施主体	バス事業者 タクシー事業者 地域公共交通会議
26年度	検討 実施
27年度	実施 評価
28年度	実施 評価
29年度以降	継続

事業 1-4 交通ターミナル乗継機能強化プロジェクト

〇主要な交通拠点である八戸駅・本八戸駅・鮫駅・中心街バスターミナル・旭ヶ丘営業所の5箇所において、乗継案内サインや待合環境の改善、人による乗継案内やおもてなしの提供、方面別バス乗り場への改善を行いターミナル機能の強化を図ります。



実施主体	交通事業者 地域公共交通会議 八戸市
26年度	検討 実施
27年度	実施 評価
28年度	実施 評価
29年度以降	実施

事業2 多様な主体と連携した「育てる公共交通」構築戦略

事業 2-1 「育てる公共交通」(協働交通)構築プロジェクト

〇主に市単独補助路線など持続的な運行が難しくなっている路線を対象に、沿線住民や沿線企業などの多様な主体の積極的な参画により、「地域の生活に使える」公共交通サービスに育てていきます。



実施主体	八戸市 地域公共交通会議 (運営・運行主体・市民・バス事業者等)
26年度	検討
27年度	実施 評価
28年度	実施 評価
29年度以降	継続

事業 2-2 「育てる公共交通」実践・普及プロジェクト

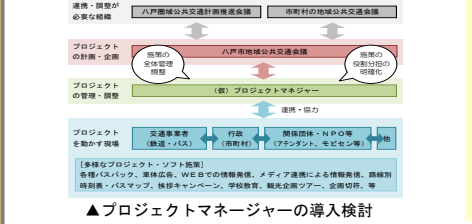
〇転入者、小中学生、企業社員、地域住民など対象者を絞って取り組んできた利用促進策を引き続き実践していくとともに、継続的に実施できるシステムの構築を目指します。
〇また、沿線の観光施設等と連携した企画乗車券を開発し、生活以外の利用の掘り起こしを進めます。



実施主体	バス事業者 地域公共交通会議 八戸市
26年度	検討 実施
27年度	実施 評価
28年度	実施 評価
29年度以降	継続

事業 2-3 「育てる公共交通」運営体制構築プロジェクト

〇これまで別々の主体に委託し実施してきたソフト施策を一体的に管理・調整する人材の導入や、モビリティ・マネジメント活動や乗継案内を展開するスタッフの能力開発など、「育てる公共交通」を継続的に推進していくための運営体制の構築を検討します。



実施主体	交通事業者 地域公共交通会議 (八戸市)
26年度	検討 実施
27年度	実施 評価
28年度	実施 評価
29年度以降	継続

事業 2-4 公共交通「みんなでかいぜん」プロジェクト

〇公共交通を「気持ちよく使えて」、「また利用したい」と思ってもらえるよう利用者の苦情や意見を公共交通の改善に反映させる仕組みの導入や乗務員等の接客サービスの向上を進めます。

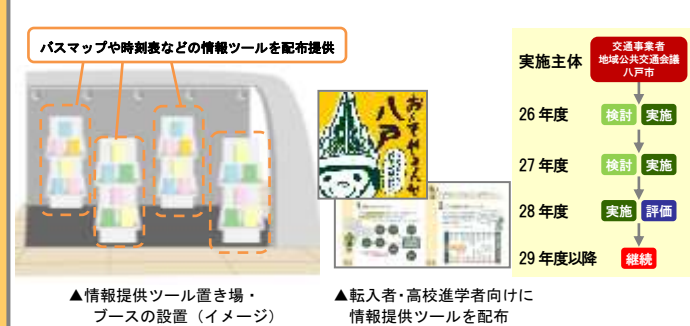


実施主体	交通事業者 各路線関係者 八戸市
26年度	検討 実施
27年度	実施 評価
28年度	実施 評価
29年度以降	継続

事業3 「迷わず乗れる」情報提供戦略

事業 3-1 「情報ツール」利用拡大プロジェクト

〇観光客や日常利用者の利便性向上、転入時や高校進学時に合わせた利用促進、未利用者への利用促進など、モビリティ・マネジメントの一環として作成したバスマップや路線別時刻表などの「使える情報提供ツール」については、交通拠点や公共施設等で配布したり、自由に手に取れるような環境を整備したりするなどの情報戦略を展開します。



実施主体	交通事業者 地域公共交通会議 八戸市
26年度	検討 実施
27年度	検討 実施
28年度	実施 評価
29年度以降	継続

事業 3-2 「路線サービス」認知度向上プロジェクト

〇市内幹線軸での「等間隔運行・共同運行サービス」、「最終幹線接続深夜乗合交通サービス」を始め、「わかりやすく支払いやすい運賃体系」、「路線毎に使えるサービス」など、市民や来訪者にとって便利になった交通サービスが、途中バス停留所・待合施設・車両等の関連設備を見ればすぐに認識できるような情報戦略を検討します



実施主体	バス事業者 地域公共交通会議 (八戸市)
26年度	検討
27年度	実施 評価
28年度	実施 評価
29年度以降	継続

事業 3-3 公共交通サービス情報発信プロジェクト

〇目的地まで公共交通で移動が可能か調べようとした場合、鉄道に関してはホームページでの情報提供が充実しているが、路線バスや公共交通の総合的な利用に関する情報についてはこれまでなかなか提供されておらず、実際の利用に繋がりにくい状況にありました。そのため、八戸市の公共交通に関するポータルサイトや広報誌などを最大限活用し、公共交通サービスの情報を発信していきます。

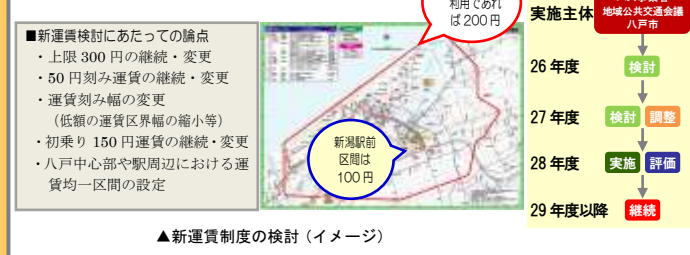


実施主体	交通事業者 地域公共交通会議 八戸市
26年度	検討 実施
27年度	検討 実施
28年度	実施 評価
29年度以降	継続

事業4 「快適に乗れる」環境改善戦略

事業 4-1 路線バス運賃体系再構築プロジェクト

〇「路線バス上限運賃」については、「わかりやすさ」、「支払いやすさ」を維持しつつ、経営的にも持続可能な運賃体系の再構築に向けた検討を行います。



実施主体	バス事業者 地域公共交通会議 八戸市
26年度	検討
27年度	検討 調整
28年度	実施 評価
29年度以降	継続

事業 4-2 バス待合環境改善プロジェクト

〇「市内幹線軸」を中心にバス停への必要情報の掲示の徹底、待合スペースの確保や接近情報の提供を行い、誰でも使いやすい待合環境に改善します。



実施主体	バス事業者 (八戸市)
26年度	検討 実施
27年度	検討 実施
28年度	実施 評価
29年度以降	継続

事業 4-3 低床車両導入プロジェクト

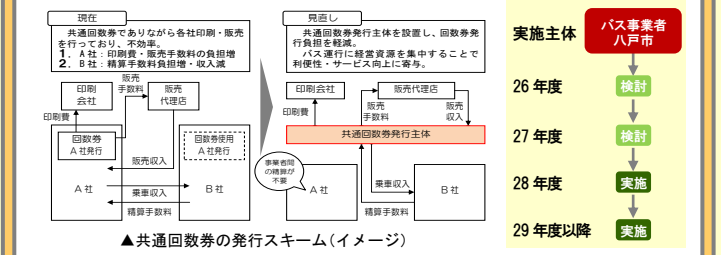
〇「市内幹線軸」を中心に、誰でも安心して公共交通で移動できる車両の導入支援策を検討します。



実施主体	バス事業者 (八戸市)
26年度	検討
27年度	実施
28年度	実施
29年度以降	継続

事業 4-4 運賃支払い円滑化プロジェクト

〇運賃体系の見直しにあわせて、スムーズな運賃支払いが可能で、運賃収受の管理がしやすいシステムの導入を検討します。また、公共交通の利用実態が把握できるデータ収集が可能な仕組みを検討します。



実施主体	バス事業者 八戸市
26年度	検討
27年度	検討
28年度	実施
29年度以降	実施